

世界耳の日
2026年3月3日



手話言語権は
人権だ！

世界耳の日

2026年3月3日

もう一つの
視点





きこえのみに焦点を当てたアプローチ

このアプローチは、補聴器、人工内耳、
各種療法といった医療的治療に重点を置
いています。

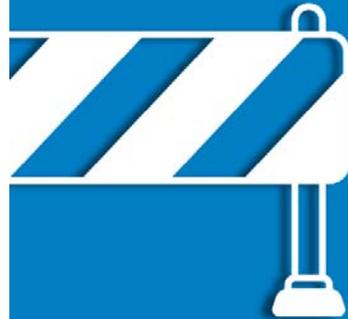
これらのアプローチだけでは、意味のある
コミュニケーションや社会的なインク
ルージョンは保証されません。

人権に基づくアプローチ

このアプローチは、自国の手話言語への
早期かつ生涯にわたるアクセスを確保す
ることを重視します。



ろう者に障害が生じる
のは、「きこえないこ
と」が原因ではありま
せん



オーディズムに基づく
社会によって障害が生
み出されています



手話言語がろう児に損害を
与えたことは、
これまで一度もありません。



ろう児に損害を
もたらすのは、
言語へのアクセスが
奪われることです。



手話言語は 未来を築きます。

自国の手話言語へのアクセスできることは、

教育を受けること、

アイデンティティの形成、

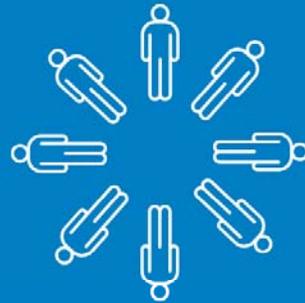
社会への完全な参加を可能に
します。



WORLD FEDERATION
OF THE DEAF



手話言語がない場合、ろう者は、教育、保健医療、情報へのアクセス、社会への参加において構造的な障壁に直面します。



**手話言語権は
人権だ！**



WORLD FEDERATION
OF THE DEAF

www.wfdeaf.org